

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	学者・教職員等の交流	担当部局庁	大臣官房国際課			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	国際課			国際課長 池原 充洋	
会計区分	一般会計	施策名	XⅢ-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「日中韓三国間協力ビジョン2020」(平成22年5月) 「国際交流政策懇談会 最終報告書」(平成23年3月)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国と諸外国との二国間交流が活発になる中で、二国間における国民間の相互理解を増進し、真の友好親善関係を構築するため、教育等分野における交流の促進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成22年度まで実施していた「学者・専門家交流事業」と「初等中等教育教職員招へい事業」を統合し、平成23年度より本事業を新規実施。 【(1)学者・専門家交流事業】 諸外国の学者・専門家を招へいするとともに、我が国の学者・専門家を諸外国に派遣し、専門分野における交流・協力及び相互理解の増進に資する講演会等の実施を通じて、教育等分野における交流の増進を図る。 また、諸外国との教育行政官の交流を図り、教育分野における二国間の連携協力の強化を図る。 ①学者・研究者の招へい・・・公募(委託費)により実施 ②行政官・国際機関職員等の招へい・・・本省で実施 ③学者・研究者・行政官の派遣・・・本省で実施 【(2)初等中等教育教職員招へい事業】 諸外国の初等中等教育レベルの教職員を招へいし、我が国の教育制度、教育事情に関する理解を深める機会を提供するとともに、我が国教職員との交流を行うことにより、相互理解の増進及び教職員の資質向上を図る。 (中国・韓国との外交関係等の影響を受けず、事業が継続的かつ安定的に行われるよう、国際機関である国際連合大学を通じて実施している。)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算				309	255
		補正予算				0	
		繰越し等				0	
		計				309	255
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	二国間の国民間の相互理解増進や友好親善関係構築は、様々なレベルで様々な人や団体等が活動することで包括的に成果として現れるものであることから、本事業のみをもって、そのための定量的な成果指標を設定することは困難。		成果実績				-
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	学者・専門家の我が国への受入れ数	活動実績(当初見込み)	人				(44)
	学者・専門家の諸外国への派遣者数	活動実績(当初見込み)	人				(96)
	中国からの教職員の招へい者数	活動実績(当初見込み)	人				(150)
	韓国からの教職員の招へい者数	活動実績(当初見込み)	人				(150)
単位当たりコスト	702,000 (円/人)		算出根拠	平成23年度予算額(309百万円)を平成23年度の学者・教職員等の交流予定者数(活動見込の合計人数:440人)で除した数値。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	ユネスコ事業等拠出金	197百万円	176百万円				
	教員等派遣旅費	39百万円	39百万円				
	国際協力推進事業委託費	34百万円	0百万円				
	職員旅費	13百万円	13百万円				
	委員等旅費	12百万円	13百万円				
	外国人招へい旅費	6百万円	6百万円				
	招へい外国人滞在費	5百万円	5百万円				
	庁費	3百万円	3百万円				
計	309百万円	255百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	文科省が施策の推進上自ら実施すべきものであるが、うち学者・研究者の招へいに関しては、委託事業(公募)を実施することで、国民のニーズに応えるよう努める。また、初等中等教育教職員招へい事業については、来日時の地方プログラムの教職員の受入れを各地方自治体に依頼し行う予定。
	△	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	学者・専門家交流事業については、文科省施策の推進を考慮し、国際会議等に出席する有識者を文科省が主体的に選定するものであるが、うち学者・研究者の招へいに関して委託事業(公募)を実施することで、競争性の確保に努めていく。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【(1)学者・専門家交流事業】 文科省が施策推進上の観点から自ら実施すべきものであるが、学者・研究者の招へいによる国際会議の実施において、広く公募による委託事業の形態を取ることで、競争性を確保し、国民のニーズに応えるよう努めてまいりたい。 また、今後の東アジア共同体構想を見据え、主として東アジア地域(ASEAN諸国・中国・韓国・インド・オーストラリア・ニュージーランド等)の教育分野に関する交流を促進するため、引き続き、アジア・大洋州等の各国の学者・研究者を我が国に招へいしていくことが必要である。</p> <p>【(2)初等中等教育教職員招へい事業】 政府間の教職員交流の一環として国が実施すべき事業であるが、来日時の地方プログラムについては、教職員の受入れを各地方自治体が担い、国と地方が一体となり実施することで日中、日韓間の相互理解の進展につなげてまいりたい。 わが国として、東アジア共同体構想の推進に取り組んでおり、平成22年5月の第3回日中韓サミットでは、教員を含む人的交流の分野における協力について、三国間で一致した。このため、本事業を通じて、初等中等教育レベルの教員交流を引き続き実施していくことが必要である。</p>		
	<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p> <p style="text-align: center;">本事業は、現時点で特段執行面における課題はない。また、定性的ながらも事業の成果目標が立てられていることから、適切な事業と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

学者・教職員等の交流

文部科学省
309百万円

教員等派遣旅費	39百万円	} を含む
職員旅費	13百万円	
委員等旅費	12百万円	
外国人招へい旅費	6百万円	
招へい外国人滞在費 庁費	5百万円 3百万円	

- 行政官・国際機関職員等の招へい
- 学者・研究者・行政官の派遣

〔公募・委託〕

A. 大学等(全2大学)
34百万円

主として東アジア地域・大洋州の
学者・研究者を対象に招へいし、
国際会議を実施

〔拠出金〕

B. 国際連合大学
197百万円

中国及び韓国の教職員を対象
にした招へい事業を実施

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 大学等(全2大学)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	(大学間交流)@19百万円×1大学	19			
委託費	(識字教育)@15百万円×1大学	15			
計		34	計		0
B. 国際連合大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	中国及び韓国の初等中等教育教職員を招へいする事業の運営に必要な経費	197			
計		197	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0